

紺碧の海と ジオサイト[※]に囲まれた スイセンの群生地

爪木崎

(下田市)



開花時期は気象条件により毎年多少異なるが、最盛期は1月上旬から2月上旬と言われる。

伊豆半島の南東部、下田・須崎半島の先端にある爪木崎はスイセンの群生地として知られる景勝地だ。弓なりの美しい海岸は陽光に照らされてコバルトブルーに輝き、丘陵を覆うスイセンの白い花と見事なコントラストを見せる。

スイセンの花が咲くのは毎年12月下旬から翌年2月上旬にかけて。あたり一面に約300万本と言われるスイセンが花弁を開く光景は、純白の絨毯を敷き詰めたよう。海風が穏やかな午前中に訪れると、甘く優しい香りが周囲に漂う。

付近には爪木崎自然公園が整備されている。散策路を伝って行くと草木が生い茂るエリアが現れ、冬季もアロエなどの花が生命力に満ちた様子で咲き誇る。

岬の南側へ出ると俵磯と呼ばれる柱状節理が荒々しい断崖を形成している。これは地層の隙間に入り込んだ地下のマグマが冷えて固まったもので、伊豆半

島が海底火山だった痕跡を示すジオサイト[※]だ。江戸時代には建設資材の俵石として利用されたという。スイセンが群生する緩やかな丘とのコントラストもまたダイナミックだ。

岬の先端には爪木崎灯台があり、水平線に大島、新島、式根島など、伊豆七島の島影が浮かんでいるのが見える。

爪木崎ではスイセンの開花に合わせて毎年12月20日から2月10日まで「水仙まつり」が行われ、例年多くの観光客が満開のスイセンを楽しむにやってくる。

爪木崎(つめぎざき)

静岡県下田市須崎、富士箱根伊豆国立公園内
駐車場/200台(乗用車500円)
問い合わせ先/下田市観光協会
静岡県下田市外ヶ岡1-1
0558-22-1531
<http://shimoda-city.info/>
●新東名・沼津長泉ICより車で約100分
●伊豆急下田駅より車で約15分



駐車場付近から爪木崎を見下ろす。コバルトブルーの海が美しく見える。日の出や星空の鑑賞スポットとしても名高い。



六角形の石が柱のように連なる柱状節理。石が俵型に見えることから「俵磯」と呼ばれる。県指定天然記念物。



昭和12(1937)年に設置された爪木崎灯台。高さ17.3m、白色塔形のコンクリート造。



岬を周遊できる散策路。ゆっくり歩いても40分程度で回ることができる。

◎目次

1 静岡景観
爪木崎

3 ◆知事鼎談
これからの日本がなすべき
美的な文化力の
涵養と発信

哲学者・日独文化研究所長
大橋良介氏

京都産業大学世界問題研究所長
静岡県補佐官(対外関係担当)
東郷和彦氏

7 スポーツ王国しずおか
ラグビーワールドカップ2019TM
本県開催への取組が加速

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック
県勢メダリスト・入賞者に
知事特別表彰

9 ふじのくにの地域外交
世界で高まる静岡県の存在感

11 ◆県政特集

駿河湾の知名度向上へ、
世界に向けて情報発信
世界で最も美しい
湾クラブに加盟!

13 ふじのくにブランド
紅富士

14 しずおか暮らし
廣瀬稔也さん

※ジオサイトとは地質、地形、歴史など、そのジオパーク(地質学的遺産の保全と活用を図る「大地の公園」)を特色づけるスポットにより構成され、テーマとストーリーを持つ領域のこと。現在、伊豆半島ジオパーク内には、114箇所のジオサイトがある。